

Eco-life Friends エコライフ ふれんず

つくばエコライフフレンズ広報誌

発行者 宮澤伸一

17号 2009.11.01 発行

菊

- | | |
|--------------------------------|----|
| ➤ 環境フォーラムが開催されました | P1 |
| ➤ エコドライブフォーラムに参加しました | P3 |
| ➤ 目から鱗 (17) 高圧空気で堆肥化 | P4 |
| ➤ わが家の CO2 削減作戦 (17) 追い炊きのガス消費 | P5 |
| ➤ 催しもののお知らせ | P7 |



環境フォーラムが開催されました

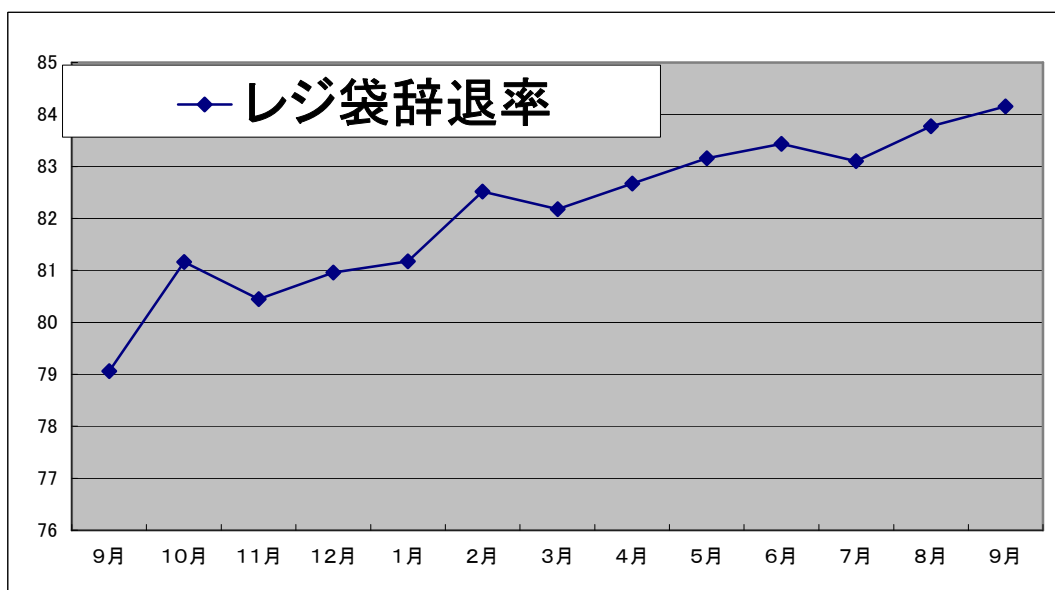
10月21日、つくばカピオホールにてつくば市環境フォーラムが開催されました。内容は、①茨城県の報告、②つくば市の報告（つくば環境スタイル計画、レジ袋有料化、家庭用廃食用油リサイクル）、③つくば市女性会の報告（家庭用廃食用油リサイクル）、④吾妻中学校1年生の環境問題に関する総合学習報告、⑤NHK お天気キャスター高田斉氏講演、と盛り沢山でした。

吾妻中学校の1年生の報告は大変立派な内容で、圧倒されてしまいました。これが身近な暮らし方と今後どう結びついていくのか、期待したいと思います。

つくば市内のレジ袋辞退率 84 %に

つくば市の報告では、レジ袋無料配布中止の協定締結店舗が少しずつ増えており、マイバッグ持参者の割合も開始当初の 79%から 84%に増え、広く市民に浸透していることがわかりました。（下図）

つくば市のレジ袋の平均辞退率



今後は、まだ協定を結べていないドラッグストアやコンビニでも実現できるように働きかけていくとのことでした。そのためには、これらの店で買い物をする時に、自発的にマイバッグを使う市民が増えることが効果的で、そういうお客さんが増えることで事業者の決断を後押しできるということでした。

現在、市内にはコンビニ 100 店舗、ドラッグストア 18 店舗があり（下表）、それらの協力が得られれば、かなりのレジ袋削減になり、環境のことを考えて暮らす人の輪がさらに広がると思いました。

市内でレジ袋を無料配布しているコンビニ、ドラッグストアの数

ココストアー	9
サークル K サンクス	7
セイコーマート	2
セブンイレブン	43
ファミリーマート	16
ローソン	10
ミニストップ	7

ツルハドラッグ	3
カワチ薬局	3
マツモトキヨシ	2
寺島薬局	8
ウェルシア	2
合計	18

エーエムピーエム	1
セーブオン	5
合計	100

家庭用廃食用油のリサイクル 4～9 月の実績

つくば市女性会からは、家庭用廃食用油の回収、BDF の精製が 4 月から本格的に始まったことについて報告がありました。廃食用油の回収場所は各公民館、カスミ、ジャスコなど 30 ヶ所で、1 ヶ月に約 1 2 0 0 リットル程度集まり、そのうち 8 割がリサイクルされているそうです。精製の様子が写真で報告され、出来上がった BDF は市のディーゼル車（ごみ収集車、幼稚園バス、公用車）に利用されていることが確認できました。

なお、当日の参加者にはコンビニ弁当用のマイバッグと廃食用油をペットボトルにうつすための漏斗が配布され、二つの取り組みを多くの市民に広げたいという市（担当課）の熱意が感じられました。

家庭用廃食用油回収量

4 月	1258
5 月	929.5
6 月	1181
7 月	1412
8 月	1235.7
9 月	1340
合計	7356.2 リットル

エコドライブ教習会に参加しました

つくば市では 2030 年に向け CO₂ 50%削減を掲げる「つくば環境スタイル行動計画」を策定し、様々な活動に取り組み始めています。行動計画の一つ「エコドライブの推進」の中で、2013 年までにエコドライブ講習会（講義だけでも含む）を 3 万人に受講してもらう目標を掲げています。その第一歩として、10 月 19 日（月）大穂庁舎でエコドライブ教習会が開催されました。

筑波大学や国立環境研究所の研究者や職員の方、つくば市職員など 13 名、エコ